

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 月 日

評価対象事業		評価者	保育課長 松本 広	
こども-10	実施事業	児童福祉運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 保育課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 こども支援課、こども相談課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童福祉事業の円滑な執行を図るため。
効果	児童福祉事業が適切に実施される。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の保育所の児童の健康に関して、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員を配置した。</li> <li>市内の保育所の給食調理に係る事務を円滑に行うため、栄養担当嘱託員を配置した。</li> <li>子ども・子育て支援新制度に係る事務を円滑に運営するため、子ども・子育て支援システムの運用を行うとともに、幼児教育無償化等に対応する改修を実施した。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	世帯数	83,058世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	17,491	36,351	当初予算(千円)	20,928
	国県支出金		12,461	国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	25
	一般財源	17,491	23,890	一般財源	20,903
	人員配置数	0.1	0.1	人員配置数	0.1
事業経費運営	人件費(千円)	781	805	人件費(千円)	17,485
	総事業費(千円)	18,272	37,156	総事業費(千円)	38,413
	市民1人当りの経費(円)	104	211	市民1人当りの経費(円)	218
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか 今後も市が実施すべき事業か	3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか △.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容
	事業へ統合		
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	保健衛生嘱託員等の雇用経費、子ども・子育て支援新制度に係る電子システムの運用経費等、本市における保育提供体制の維持管理経費であり、今後も継続して同程度の経費が発生するため。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	保健衛生嘱託員等の雇用経費及び子ども・子育て支援システムの保守管理業務が主な歳出だが、保育園の保健衛生管理を担っていること、保育園への入所、利用者の支給認定及び給付費等をシステムにより管理していることから、事業の統合・廃止を行うことは難しい。また、引き続き保育会が行っている事業の状況を確認し、補助金のあり方について検討していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	鎌倉市保育会が行っている事業の状況を確認し、補助金のあり方について検討していく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	鎌倉市保育会の活動状況を確認したうえで、鎌倉市保育会への補助事業の継続を確認した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き鎌倉市保育会への補助金のあり方について、活動内容について検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	保健衛生嘱託員(看護師・保健師)の配置について								
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市	茅ヶ崎市	横浜市	川崎市	横須賀市	小田原市
他市実績	実施	実施	実施	未実施	実施	未実施	実施	未実施	実施

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	公立保育園における看護師・保健師の巡回等について、本市では有資格者の非常勤嘱託員を雇用し、対応を行っているところである。他市においては、関連課との連携に基づく対応を行っており配置していない場合、また、0歳児の利用がある場合に必ず常勤職員を配置している場合等、自治体ごとに対応が異なっており、適切な配置について研究が必要となっている。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	保健衛生嘱託員の配置数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
障害やアレルギーを有するなど配慮の必要な児童や低月齢の児童の入所が増加していることから、専門的な見地から指導助言ができる保健衛生嘱託員の配置が必要である。	目標値	5	5	5	5	5	5				
	実績値	5	5	5	5	5	5				
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	多様化する保育サービスへの対応等の増加する業務量に対し、円滑な業務遂行を果たすため、業務の見直しを図るとともに、業務量に応じた必要人員を確保していく必要がある。
-----------------------	--